

# 高齢者と共に 音楽を楽しみながらふれあう交流会

教育課程上の位置付 総合的な学習の時間

## 実施概要

施設での活動は、今回が初めてです。生徒は、代表挨拶の後、「WAIになって踊ろう」、「マイバラード」を合唱しました。次に、利用者が5、6人ずつが座る6つのテーブルに、生徒が2、3人ずつ座り、自己紹介の後、イントロ当てゲームを6回行いました。その後、「上を向いて歩こう」を全員で合唱しました。最後に、生徒が「ハロー・グッバイ」を合唱し、利用者のアンコールに「上を向いて歩こう」を全員で合唱し、活動を終了しました。

**活動参加者** 当校 生徒…14人 担当教員…3人  
**内訳** 交流先 利用者…35人 担当職員…3人

**交通手段** 当校とデイサービスセンター堀切との距離はおよそ600m  
徒歩で来校・訪問 約3分



生徒たちの歌声に、みんな聞き入りました

## 活動報告 実施日：11月16日(木)

生徒たちは、施設に入ると利用者に拍手で迎えられました。始めに、生徒全員が前に並んで、歌を2曲合唱しました。生徒がキーボードで伴奏しました。次のイントロ当てゲームでは、「365歩のマーチ」や、「水戸黄門」など、利用者になじみある曲を演奏したことで皆さんの手が挙がり、大いに盛り上がりました。曲名を当てた利用者には、そのテーブルにいた生徒から手作りの金メダルが贈られると、利用者は金メダルを手にとって眺め、とても喜んでいました。

その後、利用者全員に生徒が紙すきの学習で製作したしおりと点字ブロックの理解啓発を目的に作られたポケットティッシュをプレゼントすると、利用者は更に喜んでいました。そして、全員で「上を向いて歩こう」を合唱しました。

最後は、生徒全員が前に出て、英語の歌「ハロー・グッバイ」を合唱しました。利用者からはアンコールの声が上がリ、全員で「上を向いて歩こう」を歌うと、会場が一体化しました。

### 当日のスケジュール

- 13:30 学校、施設、SSC、3者事前打合せ(事務室)
- 13:55 生徒、引率教員とデイサービスセンター堀切に到着。活動準備
- 14:00 開会に先立ち、施設より本活動の紹介  
開会 はじめの言葉(生徒代表)、生徒よりプログラム配布
  - ①生徒による歌の披露(生徒がキーボードを弾く)
    - ・「WAIになって踊ろう」・「マイバラード」
  - ②生徒と利用者がゲームで交流
    - ・利用者のグループに生徒が2～3名ずつ入り、グループごとに自己紹介(名前+好きな食べ物)
    - ・イントロ当てゲーム(利用者の方が日頃歌っている曲)6曲。曲名を当てた利用者には生徒から手作りメダルをプレゼント。最後に全員に記念品のプレゼント
    - ・全員で合唱「上を向いて歩こう」
- 14:40 ③お別れの歌披露
  - ・「ハロー・グッバイ」(アンコール「上を向いて歩こう」)

- 14:45 おわりの言葉 施設長より感想、生徒代表より感想・挨拶
- 14:50 閉会 生徒と引率教員はデイサービスセンター堀切を出発

### ■活動のために準備したもの

〈教員〉 掲示用プログラム・歌詞、利用者への個別のプログラム  
〈生徒〉 イントロ当てゲーム正解者への手作りメダル、利用者への記念品プレゼント(生徒が紙すきの学習で製作したしおり)

### ■工夫したところ

- ・音楽を中心とした交流を計画し、イントロ当てゲームでは、利用者の方々になじみのある曲を選びました。
- ・全員と一緒に歌う場面では、歌詞を掲示し、歌詞カードも準備して皆さんが歌えるようにしました。
- ・活動日当日だけでなく、生徒が手作りのプレゼントを準備し、あらかじめ活動への意識を強くもつようにしました。

### ■実施にあたって注意したところ

- ・障害特性を踏まえ、事前に活動場所を確認し、場所の広さや立ち位置などを理解できるように生徒に説明しました。
- ・生徒に負担がかからないように、これまでの校内での学習が生かされる活動になるよう計画しました。

### ■良かったと思うところ

- ・初対面の人とふれあう経験が少ない生徒たちが、利用者の方々と楽しく活動でき、とても貴重な経験ができました。
- ・利用者の方が喜んでくれ、感動の気持ちを言葉で伝えてくれたことで、生徒たちが達成感や充足感を味わうことができました。

### ■今後に向けての学校からの抱負

地域社会を知る上で大変有意義な活動となったので、今後も継続した活動としていきたいと思っています。「貢献する」という学習体験が少なかったため、本活動を機会に今後はより発展した貢献活動をしていけたらと考えています。

当校は、東京都東部地域における視覚障害教育のセンター校として、幼稚部・小学部・中学部を設置し、全国的にも数の少ない、高等部を設置していない盲学校です。

近隣の保育園・小学校・中学校との交流と共同学習を推進し、副籍制度の充実にも努めています。社会貢献活動は、毎年、近隣の地区センターで行われるお祭りに全校の幼児・児童・生徒が参加して、合唱を披露しています。

## 活動の感想

### 生徒・教員の感想

- 生徒**
  - ・司会をやり、皆さんに喜んでもらいとてもうれしかったです。この経験を活かして積極的にいろいろなことに挑戦していきたいと思いました。今回の活動はとても勉強になりました。
  - ・年配の方との交流は初めてで少し緊張しましたが、イントロ当てゲームや歌も皆さんが盛り上がりくれたので良かったです。歌では皆さんが手拍子をしてくださり、のってくれてとてもうれしかったです。
- 教員**
  - ・生徒たちにとっては、初めて足を踏み入れた場所で、不安がいっぱいでした。しかし、利用者の方が生徒たちを温かく迎えてくれ、温かい言葉をたくさんかけてくれました。一緒にゲームをして少しずつ距離が近付き、そして、全員合唱で歌った「上を向いて歩こう」では、会場が一つになれた瞬間だったと思います。「貢献する」とは、「一緒になり、相手を思う」ことから第一歩が始まるのだと心から思えるすてきな一時でした。

### 施設の参加利用者・担当者の感想

- 利用者**
  - ・感動して言葉が出ません。本当にありがとうございました。イントロ当てゲームを2回も当てる楽しかったです。また来てください。
  - ・自分の子供みたいにかわいかった。続けてほしいです。このような活動は本当にいいですね。元氣もらいました。幸せです。
  - ・こういう催しは初めてだけど、感動して涙が出ました。一生懸命で元氣をもらいました。
  - ・皆さんすごく頑張っていて、とても感心しました。本当にありがとうございました。

**施設長** 葛飾盲学校の生徒さんと当センターのお客様がコミュニケーションをとり、楽しそうにされていたのが印象的でした。生徒さんの一生懸命な姿に当センターのお客様は感動して涙するお客様もいました。また、席についてのコミュニケーションについても、フロアで声が聞こえなくなるほど盛り上がり、各テーブルで笑顔が見られました。イントロ当てゲームについても、積極的に答えようとしてくれていました。その際の生徒さんとの一体感や盛り上がりは素晴らしいものとなりました。

### ■実施までの経過 ※(コ)：コーディネーター

- 7月27日 (コ) 学校を訪問。担当教員と打合せ
- 8月9日 担当教員と(コ)、施設を訪問。施設担当者に当事業を説明し、協力を依頼
- 9月21日 (コ)、施設担当者に保険について説明
- 10月5日 担当教員と(コ)、施設の机の配置や当日の流れについて打合せ

### 交流先



株式会社ケアサービス  
**デイサービスセンター堀切**

住 所：東京都葛飾区堀切7-8-18

### ■施設概要

- ・通所介護事業(デイサービス) 定員35名
- ・予防介護事業



イントロあてクイズで、生徒と相談



手作りのプレゼントに、心からの感謝の握手